



CLAUDIO MONTEVERDI FAVOLA IN MUSICA

L'ORFEO

モンテヴェルディ
歌劇 **オルフェオ**

初演1607年 — マントヴァ
プロローグと5幕ノイタリア語上演・日本語字幕付

初期オペラの最高傑作と能との出会い

指揮・ヴァイオリン：寺神戸 亮

演出：野村 四郎、笠井 賢一

管弦楽・合唱：レ・ボレアード(古楽器オーケストラ&合唱)

2007.

11.15 木 **11.17** 土

19:00開演(18:30開場)

15:00開演(14:30開場)

北とびあ さくらホール

■主催・制作：(財)北区文化振興財団

■共催：北区

■後援：イタリア文化会館

■助成：芸術文化振興基金 / (財)地域創造 / (財)花王芸術・科学財団 / (財)三菱UFJ信託芸術文化財団

■協力：北ケーブルネットワーク(株)

■助成認定：(社)企業メセナ協議会



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

CLAUDIO MONTEVERDI L'ORFEO FAVOLA IN MUSICA

モンテヴェルディ 歌劇 オルフェオ

初演1607年—マントヴァ
プロローグと5幕／イタリア語上演・日本語字幕付

作 曲：クラウディオ・モンテヴェルディ
台 本：アレッサンドロ・ストリッジョ

昨年大好評を博したハイドンの歌劇《月の世界》に続く、
北とびあ国際音楽祭のオペラ公演第2弾！
現在望み得る最高の歌手陣と、日本が誇る古楽器オーケストラ、
寺神戸亮率いるレ・ボレアードによるモンテヴェルディ。
400年前に生まれた傑作オペラ、黄泉帰りの物語と、
幽玄なる能の所作がここに出会う！



©K.Miura

寺神戸 亮

Ryo Terakado

【指揮・ヴァイオリン】

桐朋学園大学在学中に日本音楽コンクール第3位入賞。卒業後、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを経て、オランダへ留学。シグスヴァルト・クイケンのもと研鑽を積み、レザール・フロリサンをはじめヨーロッパ有数のオリジナル楽器アンサンブルのコンサートマスターを歴任。現在ラ・ブティット・バンド、バッハ・コレギウム・ジャパンのコンサートマスター。ソリストとしても世界中で精力的にリサイタルを行い、各地で称讃されている。1995年、北とびあ国際音楽祭において、バーセル《タイドとエネアス》で指揮者デビュー。新たな才能を開花させた。その後も同音楽祭および音楽祭記念事業において、ラモー《ビグマリオン》《エベの祭典》《イボリートとアリシ》、モーツァルト《イドメネオ》、ハイドン《月の世界》などの指揮で大きな成果を上げ、現在日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。海外での指揮活動も始め、益々その活動の幅を広げている。桐朋学園大学特任教授。

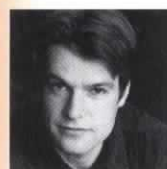


野村 四郎

Shiro Nomura

【演出】

1936年和泉流狂言方6世野村万蔵家に出生。親世元正に内弟子入門。親世寿夫に師事。62年に独立、親世流シテ方として活躍。重要無形文化財総合指定の日本能楽会会員。87年、野村四郎の会「求塚」で文化庁芸術祭優秀賞。94年、芸術選奨文部大臣賞。98年、紫綬褒章。2003年、第25回親世寿夫記念法政大学能楽賞。06年、近年の舞台活動に対して第62回日本芸術院賞。東京芸術大学名誉教授。(社)日本能楽会理事長。(社)親世会監事。(社)鏡仙会理事。



オルフェオ

ジュリアン・ポッジャー

Julian Podger

【テノール】

ケンブリッジ・トリニティ・カレッジにて合唱の研鑽を積み、チューダー朝の教会音楽を研究し、歴史的かつ新しい解釈を自身の声楽アンサンブルで試みている。独唱者としては特にオラトリオの分野で評価が高く、ホグウッド、ガーディナー、ゲベルといった名だたる指揮者と共演している。オペラへの出演も多く、モンテヴェルディ《ポッペアの戴冠》、バーセル《タイドとエネアス》などで好評を博している。日本では2001年にバーセル・カルテットの日本公演でモンテヴェルディ《オルフェオ》を上演した際、アポロ役で好演した。



©Yuriko Takagi

女の使者／希望

波多野 睦美

Mutsumi Hatano

【メゾソプラノ】

ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。ルネサンスからバロック、近現代まで歌曲を中心としたレパートリーで日本、イギリスにおいて数多くのコンサートを行う。特に国際的に評価の高いユーロソング、「歌曲の変容」シリーズ(王子ホール)、関芳生作品のアメリカでの世界初演など独自の活動で注目される。オペラではモンテヴェルディの《オルフェオ》、モーツァルトの《イドメネオ》などに出演。2006年度レコードアカデミー賞を受賞した「涙の形」や「モンテヴェルディ／祈りの歌」「ひとときの音楽／バロックの美しい歌」他、CD作品も数多い。



エウリディーチェ

懸田 奈緒子

Naoco Kaketa

【ソプラノ】

横浜生まれ。東京芸術大学大学院修士課程修了(古楽専攻)。1998年よりバッハ・コレギウム・ジャパンに参加するほか、ヘンデル・フェスティバル・ジャパン(HFJ:三澤喜幸主宰)など多くの公演で高い評価を得ている。友愛ドイツ歌曲コンクール第2位、古楽コンクール山梨第3位(声楽最高位)、日本音楽コンクール入選、プリュージュ国際古楽コンクール第4位(声楽最高位)、シメイ・バロック歌唱国際コンクール第1位。2004年よりパリ在住、07年5月パリ市高等音楽院古楽科を審査員満場一致および栄誉賞付きで修了。



©Kohei Take

ニンファ

柴山 晴美

Harumi Shibayama

【ソプラノ】

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。その後《魔笛》《コジ・ファン・トゥッテ》等に出演。宗教曲においても《戴冠式ミサ》《マタイ受難曲》等のソリストとして好評を博す。イタリア留学中には、フィレンツェ大聖堂でのミサ礼拝のソプラノや《レクイエム》(フォーレ)でソロを務めた他、イタリア各地で多くのコンサートに出演。2006年4月には初のソリサイタルに於いて、イタリアバロックの歌を発表。輝かしい声と卓越した装飾の技量で、この時代の歌の魅力を表現し、その存在を強く印象づけた。藤原歌劇団準団員。



©K.Miura

レ・ボレアード(古楽器オーケストラ&合唱)

Les Boréades

【管弦楽・合唱】

第1回北とびあ国際音楽祭でバーセル《タイドとエネアス》を上演した際に集まったオーケストラと合唱は、一度で解散するのは惜しいとの声があるほどの成功を収めた。続く第2回音楽祭でのラモー《ビグマリオン》の更なる成功によって、1996年寺神戸亮を指揮者としてこのオーケストラは誕生した。このオリジナル・オーケストラに、ギリシャ神話に出てくる北風の神ボレアードと北区を重ね合わせ、「北(区)からのメッセージ」の意味を含め、「レ・ボレアード」と名付けられた。毎回若干のメンバーの違いはあるものの、寺神戸亮のもと、同じ音楽世界を共有するメンバーたちによって、回を重ねるごとにすばらしいサウンドが創り出されている。



笠井 賢一

Kenichi Kasai

【演出】

1949年、高知市に生まれる。今尾哲也氏(歌舞伎研究)に師事。八世坂東三津五郎秘書として著作の助手を務める。現在は「鏡仙会」で能のプロデュースの仕事に従事。また劇作、演出家として古典と現代をつなぐ演劇活動を、能狂言役者や現代劇の役者、邦楽・洋楽の演奏家たちと続ける。名古屋・岐阜NHK文化センター講師(日本芸能史)、東京芸術大学非常勤講師。



©K.Miura

音楽／プロセルピナ

野々下 由香里

Yukari Nonoshita

【ソプラノ】

東京芸術大学声楽科を主席で卒業、同大学院修了。関西フランス音楽コンクール、第4回日仏音楽コンクールともに第1位入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院留学中ナント、トゥールーズ、リオ・デ・ジャネイロ等国際コンクールに入賞。1989年《フィガロの結婚》ケルビーノ役でレニス歌劇場にデビュー。帰国後はバッハ・コレギウム・ジャパンのソリストとして、国内外の公演・録音に参加。北とびあ国際音楽祭では、バーセルやラモーのバロックオペラ、2006年ハイドン《月の世界》に出演し聴衆を魅了している。日本フォーレ協会会員。東京芸術大学古楽科准教授。



カロンテ

若林 勉

Tsutomu Wakabayashi

【バス】

国立音楽大学卒、東京芸術大学大学院修了。ミラノ及びウーレンで研鑽を積み、第67回日本音楽コンクール声楽部門第1位。第4回オルフェオ・国際声楽コンクール第1位。2001年国立劇場公演《リゴレット》のスパラフチーレでデビュー。その後《トゥーランドット》《ルチア》《ニルンベルクのマイスター・ジnger》《ジャンニ・スキッキ》《後宮からの逃走》等に出演し成功を収めている。藤原歌劇団には本年2月《蝶々夫人》のボンゾでデビュー。オーケストラとの共演も多く存在感のある歌唱を聞かせ、今後益々の活躍が期待される。平成10年度五島記念文化財団オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。

愛するエウリディーチェを現世に取り戻すため、死の国に下ったオルフェオは得意の美声で地獄の王に訴え、見事願いを聞き入れられて、二人揃って地上に向う。ところが思わぬ試練がその帰途に待ち受けていた。この有名なギリシャ神話を主題に、巨匠モンテヴェルディが主君マントヴァ公爵の求めに応じて書き上げた歌劇《オルフェオ》は、オペラ史の初頭を飾る金字塔としてあまりにも有名ですが、それがマントヴァ宮廷の大広間で初演されたのは1607年のことでした。すなわち今年こそ、この作品が発表されて丁度400年の記念すべき年にあたるわけです。

ところで愛する者の後を追って死の国へ下るという物語は、実は日本の神話にも存在します。一方モンテヴェルディが主君のためにこの作品を宮廷で上演した年は、日本では2年前に將軍職を息子秀忠に譲った徳川家康が江戸を離れ、駿府で悠々自適の生活に入った年にあた

ります。その家康が隠居生活の慰みに、家臣に命じて音楽劇を上演させたとするならば、それはさしすめ能ということになるでしょう。もしも当時、今日のようにマントヴァから駿府までの旅が1日で出来たとするならば、《オルフェオ》を能の演出で上演することも、あり得ない話ではなかったのではないのでしょうか。

そこで今回、400年前の世界にさかのぼって、西洋の傑作オペラ《オルフェオ》を、東洋を代表する演劇様式である能の演出を取り入れてやってみようということになりました。ただし音楽的には初演当時そのままの演奏を目指し、配役にも適役を心がけ、使用楽器も初演における楽器編成をそのまま揃えての古楽合奏となります。奇想天外な試みのようにも思われるかも知れませんが、人の心は西も東も同じ、案外とうまくいくのではないのでしょうか。その結果は皆様の判断を待つこととして、ご来場を楽しみに期待する次第です。



フルトネ

畠山 茂

Shigeru Hatakeyama 【バス】

東京芸術大学卒業、同大学大学院修了。平成17年度文化庁派遣新進芸術家海外留学制度研修員としてミラノにて研鑽を積む。《ピンビノーネ》

ピンビノーネ(日本初演)、《ドン・ジョヴァンニ》レボレロ、《セヴィリアの理髪師》パルトロ、《愛の妙薬》ドゥルカマール、《ラ・ボエーム》コッリーネ、ペノア、アルチンドロなどオペラを中心に活動。青島広志「須賀原洋行の4コマ漫画による掌編オペラ(非存在病理学入門)」初演に参加、その模様が原作者によって再漫画化されている(講談社漫画文庫「よしえさん」5巻所収)。二期会会員。



牧人2

長尾 譲

Jo Nagao 【テノール】

東京音楽大学大学院修了。ミラノ市立音楽院古楽科ディプロマ取得。声楽を故東敦子、篠崎義昭、C・ミアテッロ、V・マンノ各氏に、音楽学を金澤

正剛氏に師事。R・ジーニの下、初期バロックのレパートリーの研鑽を積む。平成14年度文化庁派遣芸術家在外研修員奨学金を獲得。2004年パチカン市国聖ピエトロ大聖堂において《ミサ曲第8番》(T・レオナルダ)のソリスト、CD録音ではB・ジーニ指揮「Magnificat」(F・カヴァッリ)をはじめ、その他参加したコンサート、CD多数。



アボロ

与那城 敬

Kei Yonashiro 【バリトン】

桐朋学園大学研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。平成17年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。第11回

世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2005」アジア予選代表、ドイツ選へ出場。第16回マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール(イタリア・マルサラ)第3位(1位なし)入賞。新国立劇場オペラ研修所公演《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロール等に出演。2006年11月には《コジファン・トゥッテ》(宮本重門演出)グリエルモ役で東京二期会オペラデビューを果たし好評を博す。二期会会員。



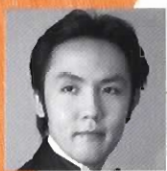
牧人3

彌勒 忠史

Tadashi Miroku 【カウンターテナー】

千葉大学卒業。同大学大学院修了。東京芸術大学声楽科卒業。1999年よりイタリアを中心として演奏活動を行う。トロヴァトーリ・レヴァンティ主宰。

バル・ダンツァ協会創設会員。2001-03年イタリア国立G・フレスコバルディ音楽院バロック声楽講師。現在、東京芸術大学声楽科教育研究助手、学習院生涯学習センター講師。タクトスより2枚目のソロCD「シレーヌたちのハーモニー」が発売中。イタリア・フェッラーラ市・県、国立音楽院、文化財保護局および各文化団体公認「日本におけるフェッラーラ・ルネサンス文化大使」。



牧人1・雷1・こだま

谷口 洋介

Yosuke Taniguchi 【テノール】

国立音楽大学声楽科卒業。声楽を宮崎義昭、中村健、大石正治、ヒサコ・タナカ、ジョン・エルウィスの各氏に師事。1998年以来パッパ・コレギウム・ジャパ

ンのメンバーとして国内外の数多くの演奏会やCD録音に参加し、現在も主要メンバーとして活躍中。99年、パッパ・コレギウム・ジャパン演奏のモンテヴェルディ《ヴェスプロ》でソロデビュー。2002年、岡山国際音楽祭主催のモンテヴェルディの歌劇《オルフェオ》にて牧人役と精霊役で出演し好評を博した。第19回室内楽音楽コンクール・ソレイユ新人オーディションで声楽部門優勝、総合で最優秀賞を獲得。01年音楽現代新人賞受賞。

ダンサー

後藤 大 Dai Goto

室伏 美由紀 Miyuki Murofushi

レ・ボレアード

合唱

【ソプラノ】
糸川 絵美
柴山 晴美
名倉 亜矢子
本保 尚子
松井 亜希
松堂 久美恵

【アルト】
青木 洋也
彌勒 忠史

【テノール】
谷口 洋介
長尾 譲
根岸 一郎
野村 和貴

【バス】
小笠原 美敬
小田川 哲也
小酒井 貴朗
畠山 茂
与那城 敬

管絃楽

【ヴァイオリン】
ソフィー・ジェント
竹嶋 祐子

佐藤 泉
荒木 優子

【ヴィオラ】
渡部 安見子
深沢 美奈

【バス・ド・ヴィオロン】
エマニュエル・バルサ

【ヴィオラ・ダ・ガンバ/リローネ】
福沢 宏

【ヴィオローネ/ヴィオラ・ダ・ガンバ】
櫻井 茂

【リコーダー】
向江 昭雅

【コルネット/トランペット】
ジャン＝ピエール・カニアク

【コルネット/リコーダー】
及川 茂

【トロンボーン】
飯塚 隆彦

萩谷 克巳
小倉 史生

巻島 俊明
ベルンハルト・ライナー

【トリプル・ハープ】
ナニヤ・プレーディク

【キタローネ/バロック・ギター】
つのだ たかし

エーロ・バルヴィアイネン

【チェンバロ/オルガン】
上尾 直毅

北御門 はる
【打楽器】
近藤 郁夫

■ モンテヴェルディの時代の楽器 ■

コルネット(ツینگ)

15世紀末～17世紀末に盛んに使われた円錐形の木管楽器。唇を振動させて音を出す仕組みで、非常に高度な演奏技術を要する。人間の声に最も近い楽器とされ、教会音楽で合唱と重ねて使われることも多かった。



トリプル・ハープ

弦が3列に張られたハープで、両側が全音、中心が半音に調弦される。2弦のダブル・ハープよりも効率よく演奏できるため、17世紀初頭のイタリアで好んで使われた。モンテヴェルディの《オルフェオ》では「アルバ・ドッピア(=ダブル・ハープ)」と指定されているが、トリプル・ハープで演奏されることも多い。



キタローネ

16世紀末～17世紀中頃までイタリアで使われた、非常に長いネックを持つ大型のリュート。独唱歌曲の伴奏に最適な楽器として好まれた。



※出演者変更のお知らせ

オルフェオ役に出演を予定しておりましたリュイス・ピラマジョは、やむを得ない事情により、ジュリアン・ボッジャーに変更となりました。

北とぴあ国際音楽祭2007 公演スケジュール

10.28 (日) 15:00 さくらホール

芸大とあそぼうin北とぴあ「伝説から伝説へ」
だんのうらせきせきのうすしお
壇ノ浦奇蹟渦潮～チンギス・ハーン対義経
【指揮】三河 正典
【演奏】東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校オーケストラ
東京芸術大学音楽科学生ほか

10.30 (火) 14:00 旧古河庭園・洋館

● **ヴェルサイユ今昔物語**
～ヴィオラが最後の輝きを放った時代～
【ヴィオラ】品川 聖 【クラウサン】福岡 彰 【お話】関根 敏子

11.3 (土・祝) 11:00/14:30 旧古河庭園・洋館

名器で聴くマエストロ・シリーズⅡ
鈴木秀美のチェロ伝説
～大正の名館に響くバツハ～
【チェロ】鈴木 秀美

11.3 (土・祝) 18:30 つつじホール

● **合唱団スコラ・カントールム**
第6回 特別演奏会
【指揮】野中 裕 【合唱】スコラ・カントールム

11.4 (日) 14:30 さくらホール

● **歌い継がれる「うた」～Legend of Song～**
【指揮】坂本 徹 【ナビゲーター】朝岡 聡
【合唱・オーケストラ】モーツァルト・アカデミー・トウキョウ

11.6 (火) 14:00 旧古河庭園・洋館

● **名器ローゼンベルガーで繙く、ドイツの伝説とファンタジー**
【フォルテピアノ】丹野 めぐみ 【ソプラノ・朗読】エリザベス・ドビン

11.7 (水) 19:00 つつじホール

パンソリ・伝説への誘い
～韓国の伝統音楽～
【パンソリ】蔡水晶、朴根永 【サムルリ】金基弘、金眞、朴京雨、姜譽珍
【舞踊】朴珍姫 【テグム】李純南 【演出】延周政

11.9 (金) 19:00 つつじホール

田辺冽山<尺八> 東西・古楽を探る
● **「音のかげら・音の記憶」**
【尺八】田辺 冽山 【箏】桜井 智永
【十七弦箏】田村 法子 【筑前琵琶】高峯 香風

11.11 (日) 18:30 つつじホール

フリーフォート
● **Frifot スウェーデン伝統音楽**
～中世のパラッドから現代まで～
【演奏】フリーフォート

11.13 (火) 19:00 つつじホール

● **バロック標題音楽の愉しみ**
【演奏】ムジカ・レセルヴァータ

11.16 (金) 19:00 つつじホール

● **秀吉の夢 ～和楽器と古楽器による～**
【演奏】ENSEMBLE室町

11.15 (木) 19:00 さくらホール

11.17 (土) 15:00

モンテヴェルディ

歌劇 オルフェオ

【指揮・ヴァイオリン】寺神戸 亮 【演出】野村 四郎、笠井 賢一
【管弦楽・合唱】レ・ボレアード(古楽器オーケストラ&合唱)

◎印は参加公演
各公演の詳細は北とぴあ国際音楽祭ホームページでご確認ください。

関連公演

10.27 (土) 14:30

北とぴあ1階 区民プラザ
**パイプオルガンと
声楽のデュオ**

【オルガン】荻野 由美子
【ソプラノ】広瀬 奈緒

10.27 (土) 16:00

つつじホール
区民ボランティア特別企画
日中箏響宴

【中国古箏】伍 芳
【琴】みやざき みえこ
【尺八】藤原 道山(ゲスト)

10.28 (日) 13:00

北とぴあ1階 区民プラザ
まちかどコンサート特別企画
アフリカンドラムは魂の響き

【コンガ】ムクナ・チャカトゥンバ

11.10 (土) 13:00/16:00

スペースゆう・プラネタリウムホール
プラネタリウムコンサート
—秋の星空の伝説—
オペレッタ「エチオピア王家の4星座」

【演奏】FMP(東京芸術大学学生有志)

モンテヴェルディ 歌劇 オルフェオ

チケット料金 全席指定 7月3日(火) 一般発売

SS席 15,000円 S席 10,000円 A席 7,000円 学生席 3,000円

北市民優待販売

北市民優待として、発売日からSS席13,500円、S席9,000円、A席6,300円で購入できます(割引での購入はお一人様4枚まで)。優待チケット取扱いは、北とぴあ1階チケット売場(店頭販売)のみ。東京都北区在住を証明できるもの(保険証、免許証など)をご提示ください。

チケット取扱い

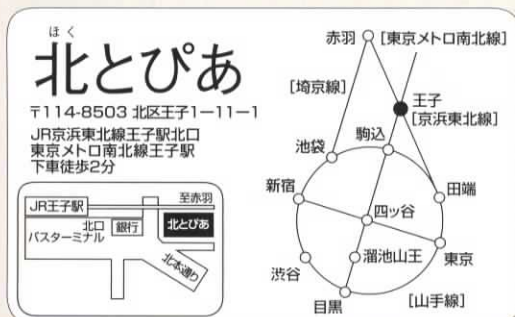
◎ (財) 北区文化振興財団 事業係
03 (5390) 1221 (平日9:00～17:00)

◎ 北とぴあ1階チケット売場(窓口のみ/10:00～19:00)

◎ チケットぴあ

- 電話予約/0570 (02) 9999 (Pコード: 260-190)
- クラシック専用/0570 (02) 9990
- ファミリーマート、サークルK、サンクスで直接購入(10:00～23:30)
※ Pコード(260-190)が必要です。ただし発売初日は正午～
- インターネット予約/http://pia.jp/t

■主催・制作: (財) 北区文化振興財団 ■共催: 北区 ■後援: イタリア文化会館
■助成: 芸術文化振興基金 / (財) 地域創造 / (財) 花王芸術・科学財団 / (財) 三菱UFJ信託芸術文化財団
■協力: 北ケーブルネットワーク(株) ■助成認定: (社) 企業メセナ協議会



お問い合わせ

(財) 北区文化振興財団 / 03-5390-1221

◎ 財団のホームページで北とぴあ国際音楽祭の情報をご覧になれます。

▶ <http://www.kitabunka.or.jp> 携帯版はこちら

- ※ やむを得ない事情により出演者・スタッフを変更する場合があります。
- ※ チケットのキャンセル・変更はできません。
- ※ 場所により、字幕が見づらいお席もございます。予めご了承ください。
- ※ 会場内での写真撮影・録音・録画などはお断りしております。
- ※ 未就学児の入場はお断りしております。
- ※ 託児サービス(2歳以上の未就学児、お子様一人1,000円)をご希望の方は、発売日より公演1週間前までに上記お問い合わせ先へお申込みください。
- ※ 車椅子席をご希望の方は、発売日より上記お問い合わせ先にてご予約ください。(数に限りがあります)

財団法人

花王 芸術・科学財団

